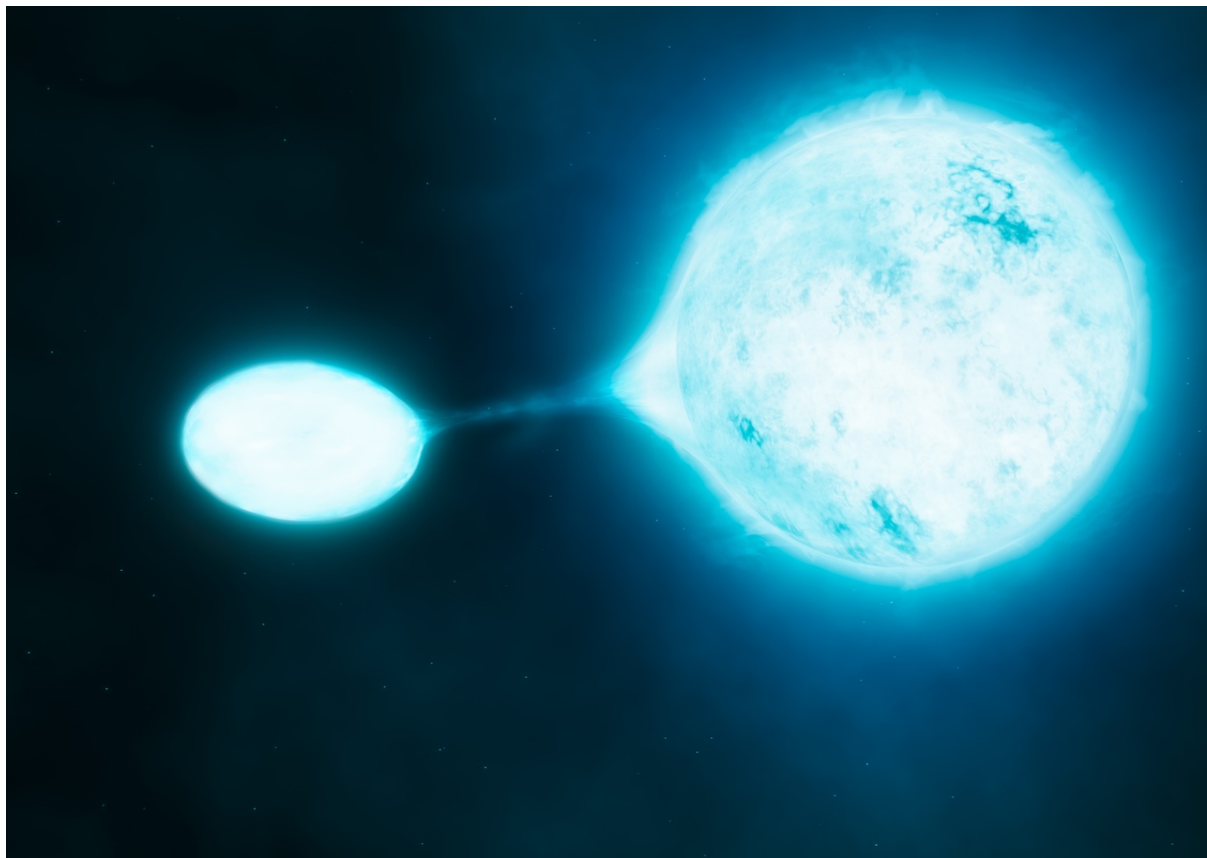




お～！宇宙にも、おっ きなキャンディー！

July 26, 2012



いろんな星があるって話なら、宇宙ってまるで色とりどりのお菓子屋さんみたいです。

星の色からは、その星がどれだけ重たいかとか、表面の温度はどのくらいあるのかとかがわかります。すごく熱くて重たい星は青色です。でも温度が低くて軽い星は赤く見えます（このことは、いつも私たちが赤色を熱い、青色を冷たいとして、例えばじゃ口の水やお湯、天気予報の時に使うのとは反対です）。

星は温度の高いものから低いものへ、次のようにグループわけされています：O, B, A, F, G, KそしてM。私たちの太陽は、まん中のGで

す。みてわかるように、この順番はA B Cの順ではありませんね。でもこの順番を覚える簡単な方法があります：英語ではこう言えばいいのです。「お～（Oh）、いいこでいてね（Be A Fine Girl / Be A Fine Guy）、キスしてよ（Kiss Me）」（あなたも自分の国の言葉で、覚えやすい文を考えてみてくださいね。例えば“お～、びっくり。あれは、富士山みたいに、ぐんぐん、かっこよく、盛り上がる”。この記事の一番最後をみてね。）

最近、天文学者の国際チームが、71個のO型の恒星を調べました。宇宙にあるお菓子屋さんの、大きなキャンデーのようです。高温の星から低温の星までの並び順をみると、この星は猛烈（もうれつ）に熱い星だってわかりますね。ほんの最近まで、天文学者は、ほとんどのO型の星は他の星からすごく離れたところにあると考えていました。しかし新しい研究によると、およそその4分の3はほかの星ととても近い位置にあります。実際、およそ3つに1つは、となりの星までとっても近くて、やがてくっついて1つの星になってしまうでしょう！

工夫してね： あなたも自分の国のことばで、高温から低温までの星の順（O, B, A, F, G, K, M）を覚えるのに役立つ文を作ってくれるといいなあ。ぜひ作って、あなたの名前（グループの場合は学校名）と年れい、国名を書いて、info@unawe.org へ送ってください。

COOL FACT

This Space Scoop is based on a Press Release from [ESO](#).

[ESO](#)



This website was produced by funding from the European Community's Horizon 2020 Programme under grant agreement n° 638653